



皆野町長 黒澤 栄則氏

## 町長のメッセージ

皆野町は、豊かな自然を生かした地域資源の活用や伝統ある文化を大切に受け継ぐとともに、子どもたちを地域が育てる「みんなの学」や大学、民間企業と連携したまちづくりに取り組んでいます。

また、町民の幸せの向上を目指し、対話を第一にチャレンジを重ねています。対話を受けて、小さなチャレンジから大きなチャレンジに繋げ、大きなワクワクを生み出し、町民が幸せを感じられるまちを目指します。

まちづくりは、行政だけでなく、町民や事業者に関わってもらうことが重要です。行政、町民、事業者、町に関係するすべての人が想いを一つに、ともに創る「共想、共創」のまちづくりに取り組んでまいります。

## はじめに

皆野町は、埼玉県の西北、秩父郡の東北にあり、秩父盆地の一角に位置している。中央を荒川が東流し、その右岸に町の市街地が帯状に開けている。東をみのやま養山、西を皆野アルプスの一つである破風山に囲まれ、町からは自然豊かで四季折々の山の美しい姿を眺めることが出来る。町を囲む山々は、いずれも標高500mから1,000m程でハイキングに適した山が多い。マイカーで山頂まで登れる山もあり、車で訪れる観光客も多いが、歩けば静かで季節感豊かな山の表情を味わうことができる。

山頂からの眺望もすばらしい。秩父連山をはじめ、赤城山、日光連山をも望むことができる。養山の山頂にある「美の山公園」の付近には桜8,000本のほか、ヤマツツジ3,500本、アジサイ4,500本などが植樹されており、咲き誇る花々や新緑が美しく山を彩る4月から6月頃には、多くのハイキング客で賑わいを見せる。「美の山公園」から望む、秩父盆地の奥にそびえる武甲山はまさに絶景だ(表紙写真)。



「第3回FunTrails Round みんなの」スタート地点(2024年5月)

## 自然が生んだ豊富な地域資源

町内では豊かな自然を生かしたトレイルランニングの大会が開催されている。トレイルランニングとは舗装されていない自然を走るスポーツで、登山道や公園、ハイキングコースなど、身近にある自然を楽しむことができる。

皆野町で行われるトレイルランニングの大会「FunTrails Round みんなの」には、30kmと50kmの周回コースが用意され、ランナーは一斉に町内の山々や観光名所の中を走り抜ける。開催には多くの事業者と町民のボランティアが加わり、町全体が一体となった活気に満ちた大会となる。今年は5月11日に開催予定で、新緑の爽やかな自然の中を、約1,000人の参加者が駆け抜けることだろう。

昨年2月には、町内初となるジビエ加工場が稼働を始めた。背景には有害鳥獣被害といった地域課題がある。町ではフランス料理のシェフが開発に関わる、ハチミツや味噌等、秩父地域の特産品をふんだんに使った料理に舌鼓を打つことが出来る。キッチンカーによるジビエ料理の移動販売や、ソーセージなどの加工品を店舗で販売するほか、更なるジビエ普及に向けて、地元ホテルとの連携を進めるなど、広がりを見せている。

町は、本年2月に町内の学校給食でジビエ料理を提供した。狩猟・食育体験などで町内外の垣根を超えた交流の場を作り、秩父地域の特産品の一つとして、ジビエを広く発信していく方針だ。

